

翔べ！松中生

令和3年度 第5号 9月1日発行

2 学 期 も 頑 張 ろ う ！

校長 齋藤 明

今年の夏休みは、猛暑日も比較的少なく、例年になく過ごしやすい日々が多かったと思います。8月の中旬には雨も多く、真夏なのに気温が20℃程しか上がらず、長袖で過ごすような日もありました。

また、夏休みに入るとすぐに新型コロナウイルスの拡散が心配される中、7月23日から8月8日までの17日間、206の国と地域が参加しての東京オリンピックが開催されました。日本勢は、柔道男子60kg級の高藤直寿選手の金メダルを皮切りに、金27、銀14、銅17と史上最多の58のメダルを獲得しました。皆さんもテレビの生放送で観戦したり、ニュースで知ったメダリストの活躍に感動し、勇気をもたらった人も多かったと思います。メダルを獲得したことで、メディアに活躍を取り上げてもらい一躍時の人となる人も多くいます。そして、中学生のメダリストも誕生しました。今回のオリンピックには、33競技、339種目で582人の選手が参加しました。



オリンピック福井烈団長は「選手の皆さんがオリンピックという素晴らしい舞台上、生き生きと夢に挑戦する姿を見ることを楽しみにしています。日本代表選手の活躍が、メダルの数では表せない感動や勇気、希望の数で人々の心に残ることと思います。」と挨拶されました。また、8月24日から9月5日まで22競技、539種目、史上最多の255名が参加するパラリンピック河合純一団長の挨拶では、「パラリンピアンのパフォーマンスは、できないをできるに変える。人間の可能性に気づかせ、共生社会を実現する活力になる。」という言葉が印象的でした。

オリンピックやパラリンピックに出場している人は、国の代表選手です。きっと何年も前から、その夢を達成させるために並々ならぬ努力をした人たちです。メダリストとなった約1割の選手だけでなく出場者全員が「凄い人」なのです。そんな凄い人たちが必死になる姿だからこそオリンピックやパラリンピックに誰もが感動するのだと思います。

そして、こんな言葉も思い出しました。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」この言葉は、松下村塾で明治維新に重要な働きをする多くの若者へ影響を与えた幕末の思想家、吉田松陰の言葉です。生きている時代は違いますが、今に通じる言葉です。

さあ、いよいよ今日から2学期が始まります。夏休みの2倍近くある79日間の長い学期です。皆さんの夢や理想がクラスや部活動にどんな影響を与えるのか、また皆で仲間の夢や理想をどう認め合っていくのか、それぞれの努力の結晶がクラスや行事、部活動等でどんな花を咲かせるのか、とても楽しみです。

これからの皆さんの「夢の成果」を期待しています。